国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022-2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト
http://k-rc.main.jp/

第15回　2022年10月27日

会長挨拶　佐藤尚宏 会長

皆さん、こんばんは。本日は郡山RC再発会記念日例会にご参加を頂きまして、誠にありがとうございます。後ほど再発会記念日卓話としまして、平松副会長に卓話を頂きます。来月の3日が休会になっておりますので、先ほど11月度の役員理事会を致しました。その中で新会員承認の審議が上がっております。伊藤基文さん、㈱花ふじの代表取締役で駅前で生花を販売しております。職業分類は生花販売、推薦会員は初瀬照夫君、橋本謙一君です。皆様、入会よろしいでしょうか。（拍手）ありがとうございます。順調に新入会員が毎月入って頂いておりまして、105名目指して頑張っているところです。クリスマス家族会を12月15日に予定しておりますので、来月の上程になります。

幹事報告　橋本　勝 幹事

来週は文化の日でお休み。その次の週も移動例会で、地区大会でお休みになりますので、皆さんとお会いできるのが11月17日になります。お忘れにならないように、宜しくお願いします。

親睦活動委員会報告　横山　大 委員長

今月の15日、矢吹カントリー倶楽部で今年最後のゴルフコンペを開催します。11月4日まで募集しておりますので、多くの方々の参加をお待ちしております。12月にクリスマス家族会を行いますので、親睦委員会全員で知恵を出し合ってやって行きたいと思います。宜しくお願いします。

プログラム委員会報告　山口　仁 委員長

3日、10日はアネックスではありませんのでお間違えの無いように気をつけて頂ければと思います。

丸山　弘 S・A・A

11月から当クラブにつきましてはネクタイ着用という形になります。皆さんのご協力、宜しくお願い致します。

ニコニコBOX委員会報告　佐藤　聡 委員長

◎本日も再発会記念日例会へのご参加、ありがとうございます。平松副会長の卓話、楽しみにしてます。
佐藤尚宏君

◎今日は第15回例会です。平松副会長、卓話宜しくお願いします。
橋本　勝君

◎再発会記念日例会の盛況と、平松さんの卓話楽しみにしております。
菅野秀士君、中原喜範君

◎再発会例会を祝して。
池田達哉君

◎再発会記念日例会、そして平松さんの卓話、本日は楽しみましょう！
高橋孝行君

◎平松さんの卓話、楽しみにしています。
前田泰彦君

再発会記念日卓話　平松敏郎 副会長

遠藤安一郎さんは、チャーター会員として設立当時のことを非常に詳しく正確に記憶されている方でした。当クラブの創立は昭和11年5月となっていますが、昭和11年というのは、二・二六事件が起きています。こんな年になぜロータリーを作っているのかというのは、不思議に思うかもしれません。経済恐慌や政財界の腐敗などに対する青年将校の怒りが爆発して、昭和維新を断行し、天皇の親政を目指すということでクーデター未遂などが起こりました。時を同じくしてRCが作られようとした。その辺りの遠藤安一郎さんの卓話誌によると理由が分かります。当クラブは橋本萬右衛門さんが中心になって作られました。萬右衛門さんはこの地域の資産家で、銀行経営をしていましたが、昭和恐慌のあおりで破綻します。金融機関の破綻というのは、一般の企業にも多大な損害を与えたんだろうと想像できます。橋本萬右衛門さんは郡山に居づらくなり、昭和5年頃から東京に移り住んでいた。ところが昭和10年に先代が亡くなったためにやむを得ず郡山に帰って来ましたが、破綻した銀行のオーナーということで相手にされず、非常に強い孤独を感じて、東京にいた頃に知ったRCを郡山で作ろうと決意されたのではないかと。シカゴのポール・ハリスがロータリーを始めたのとちょっと似ているところがあります。

昭和11年、まさに二・二六事件の年のこと。橋本萬右衛門さんは、東京RCの米山梅吉さんが、仙台にロータリーを作ろうとして、仙台に行ったという情報を察知して、帰りに途中下車して頂いて、郡山でRCを作るから指導して欲しいとお願いをしたそうです。米山さんは、人口10万人の仙台だったら続くだろうけども5万人程度の郡山ではどうかとお話しになったそうですが、橋本さんは人材が豊富だから大丈夫だということで、押し切ったそうです。普通はスポンサークラブから誘われますが、郡山は自分から手をあげて指導して下さいということで始まった。そして、昭和11年3月20日には奥さん同伴で仮の発会式を挙行しました。この時は皆ロータリーのバッジを着けて出ましたが、米山さんからRIの承認をされるまでは着けないようにと注意されたそうです。何かあれば結束するという郡山RCの伝統は、この辺りから始まっている

のかもしれません。こうして郡山RCは5月19日の創立を迎えます。仙台RCは昭和12年5月に認証されておりますが、その後戦争が厳しくなって、昭和15年11月には、日本のRCは国際ロータリーから脱退してしまいます。当時日本では満州や朝鮮半島・台湾にもロータリーがありましたが、全て脱会しました。ただ、郡山RCの場合は、金曜会ということで、活動を続けてきたそうです。東京RCは水曜クラブ、仙台は火曜クラブということで、日本の他クラブも活動をしてきたと言われています。そして昭和20年8月に終戦を迎えて、ほどなくして国際ロータリーに復帰しようという話になりました。RCはアメリカ発祥で、信用がある団体なので、GHQも割合好意的に対応したということが卓話誌に書かれています。日本の場合、戦争で公職を追放された人をどうするかということがネックでしたが、小さい町ではそれでは成り立たないので、そういう方も会員にということで再発会に至ったということです。昭和24～25年にかけて東北地方では最初に仙台、それから盛岡・山形・郡山という順番で再発会致しました。郡山RCは、昭和25年10月に再発会し、それ以来70年以上経過しております。当クラブがこれからどこに向かって行くのか、個人的には、やはり東北で一番古いクラブとして、尊敬されるクラブでありたいと考えています。論語に「君子は和して同ぜず」ということがあり、やはり協調しながらも自分は絶対失わない。そういう形で私はロータリーに参加して行きたいと考えております。

出席報告

二瓶健一 副委員長

総員／102名　出席／57名　欠席／45名
出席率／55.88%　前回修正率／53.85%
他クラブ出席／9名

次回 第18回例会
令和4年11月24日㈭
ゲスト卓話

「ウィーンの文化に触れて」
2009－2010年度
ロータリー財団国際親善奨学生
富山律子様

再発会記念日例会

会長挨拶
佐藤尚宏 会長

乾杯
新城義雄君

ソングリーダー
前田宏一君

中締め
菅野秀士 会長エレクト

東京海上日動火災保険㈱郡山支社
支社長　前　田　宏　一
〒963-8570　郡山市長者 1-7-20
☎ 934-8601　FAX 934-8602

阿部測量 株式会社
代表取締役　阿　部　充　宏
〒963-8014　郡山市虎丸町 21-14
☎ 933-2585　FAX 922-5005

会報第15号(通算3392号)2022.11.17発行 / 編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起